授業科目名	環境経済学Ⅱ	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	専門教育科目	開講時期	後期
学部・学科等	ｼﾃｨﾗｲﾌ学部ｼﾃｨﾗｲﾌ学科	曜日	火曜日
必修・選択区分	自由選択	時限（時間）	3 時限（13 時 00 分～14 時 30 分）
標準対象年次	２年次	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	宇都宮シティキャンパス
担当教員名	大石和博　准教授		
電話番号 （代表者名）	028-650-6611 （教務課　浮須［ｳｷｽ］）	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず，電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		

授業の概要

＜授業の概要＞

環境経済学Ⅱでは環境経済学Ⅰでの学習を踏まえて、環境アセスメントや環境税など環境経済学Ⅰより発展的な内容について講義を行います。この授業で学ぶ環境経済モデルは、都市に生起する環境問題を考えるための有効な分析用具であり、卒業研究等で必要になります。できるだけ環境経済学Ⅰの直後に履修してください。

＜到達目標＞

環境経済学を通じて現実の環境問題をより深く理解することを目標とします。特に、環境と消費者、環境と企業、環境と税など、環境と経済がどう関係しているかを理解した上で、環境政策を自分自身で考えられるようになることを目標とします。

＜授業計画＞

第 1 週　環境質の経済学(1) 環境規制とトレード・オ
第 2 週　環境質の経済学(2) 限界被害関数
第 3 週　環境質の経済学(3) 限界削減費用関数
第 4 週　環境質の経済学(4) 効率的な排出水準
第 5 週　環境質の経済学(5) 排出削減と限界費用均等化原理
第 6 週　分析枠組(1) 環境アセスメントの背景
第 7 週　分析枠組(2) 環境アセスメントの実際
第 8 週　分析枠組(3) 規制影響分析
第 9 週　分析枠組(4) 費用便益分析
第 10 週　分析枠組(5) 割引、おカネの時間的価値
第 11 週　誘因に依拠する政策戦略(1) 排出課徴金の経済学的基礎
第 12 週　誘因に依拠する政策戦略(2) 排出課徴金の水準
第 13 週　誘因に依拠する政策戦略(3) 排出課徴金と対費用効果性
第 14 週　誘因に依拠する政策戦略(4) 排出量取引の原理
第 15 週　誘因に依拠する政策戦略(5) 排出量取引の実際

＜教科書参考書教材と入手方法＞

教科書　バリー・C・フィールド『環境経済学入門』日本評論社、2002 年、
税込み 3,780 円。

参考書

① 諸富徹ほか『環境経済学講義』有斐閣、2008 年。
② 環境経済・政策学会『環境経済・政策学の基礎知識』有斐閣、2006 年。
③ 栗山浩一ほか『環境経済学をつかむ 第 2 版』有斐閣、2012 年。
④ 有村俊秀ほか『環境規制の政策評価　環境経済学の定量的アプローチ』
上智大学出版会・ぎょうせい、2011 年。

＜成績評価法＞

原則として、提出物（70%程度）、期末試験（30%程度）で評価します。